

誰もが安心して暮せる 川根本町



水と森が創る癒しの里
川根本町地域包括支援センター

川根本町の概要

川根本町は静岡県の中東部に位置し、東は静岡市、南は島田市、西は浜松市に隣接し、町域は大井川に沿った東西約23km、南北約40kmの南北に細長い形で、このうちの約94%を森林が占めています。

◆人口	6,993人	
◆世帯	2,157世帯	
◆65歳以上	3,352人	
◆高齢化率	47.9%	
◆身体障がい者	336人	
◆知的障がい者	62人	
◆精神障がい者	31人	(手帳所持)
◆一人暮らし高齢者	602人	H30.4.1



自然にワンストップ?

税務住民課

- ・ 転入、転出
- ・ 住民票等各種証明
- ・ 国保、後期医療
- ・ 納税相談
- ・ 滞納整理

くらし環境課

- ・ 環境衛生
- ・ 動物
- ・ 町営住宅

健康福祉課

- ・ 生活保護
- ・ 障がい福祉
- ・ 各種健診
- ・ 児童福祉
- ・ 生活保護
- ・ 民生児童委員

高齢者福祉課

- ・ 介護保険
- ・ 地域包括支援センター
- ・ 高齢者福祉
- ・ 訪問看護ステーション

建設課

- ・ 道路
- ・ 河川





2015/06/23

お達者度??

静岡県は8日、65歳をスタート年齢として自立して健康に生活できる期間を示す2014年の「お達者度」を公表した。男女とも3年連続で前年より延伸し、男性が17年10カ月（13年比約2カ月延伸）、女性が21年0カ月（同約1カ月延伸）となった。

市町別では、男性は川根本町が前年に続きトップで19年3カ月、女性は森町が前年2位から1位に返り咲き22年5カ月だった。

男性は2～4位が18年5カ月で、藤枝市裾野市、磐田市の順。女性は2位が川根本町22年0カ月、3位が御殿場市21年11カ月。

65歳からの市町別平均自立期間(お達者度、2014年)

順位	市町	お達者度	
		年月	
男性	1	川根本町	19年3カ月
	2	藤枝市	18年5カ月
	3	裾野市	18年5カ月
	4	磐田市	18年5カ月
	5	湖西市	18年4カ月
	31	伊東市	16年11カ月
	32	東伊豆町	16年10カ月
	33	熱海市	16年10カ月
	34	西伊豆町	16年9カ月
	35	小山町	16年8カ月
女性	1	森町	22年5カ月
	2	川根本町	22年0カ月
	3	御殿場市	21年11カ月
	4	吉田町	21年8カ月
	5	清水町	21年8カ月
	31	熱海市	20年2カ月
	32	松崎町	20年1カ月
	33	河津町	19年11カ月
	34	西伊豆町	19年11カ月
	35	小山町	19年7カ月

※県まとめ

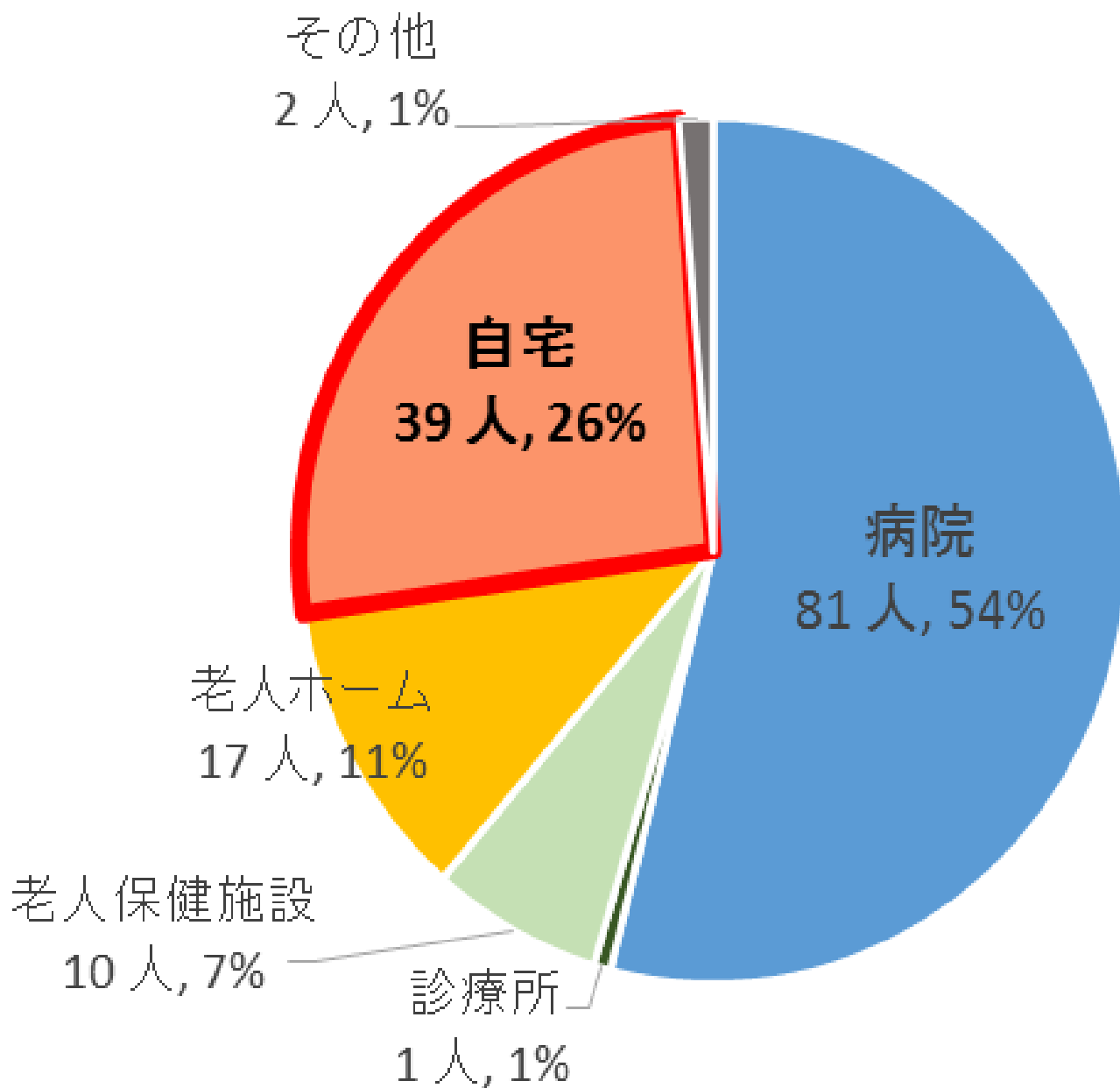








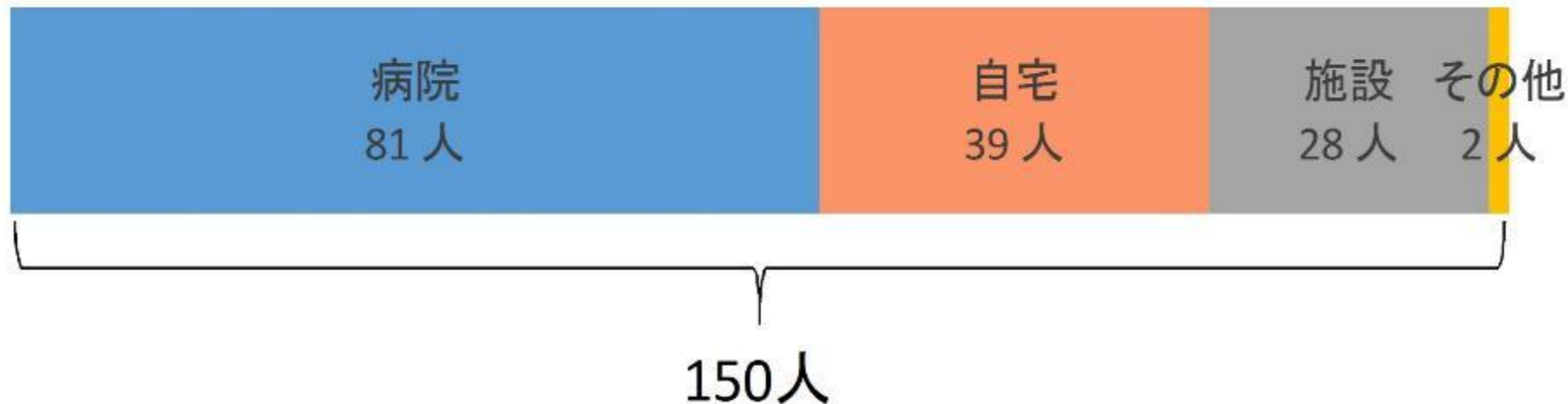
平成27年 川根本町民の亡くなった場所



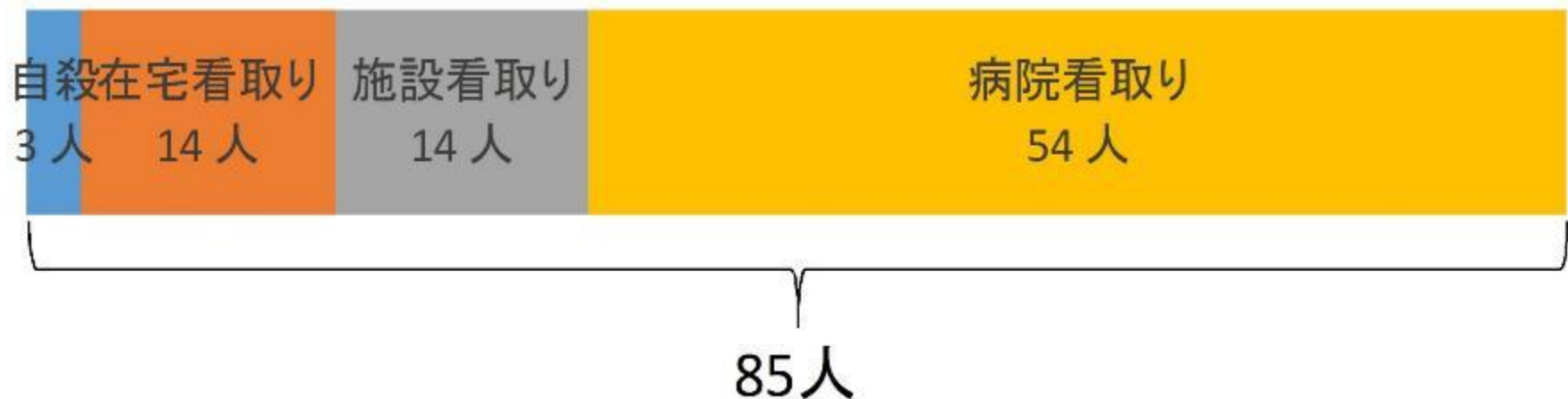
場所	人数
病院	81
診療所	1
老人保健施設	10
老人ホーム	17
自宅	39
その他	2
計	150



平成27年に亡くなった方



内包括が何らかの形で関わり、把握している方





● 自宅での看取り

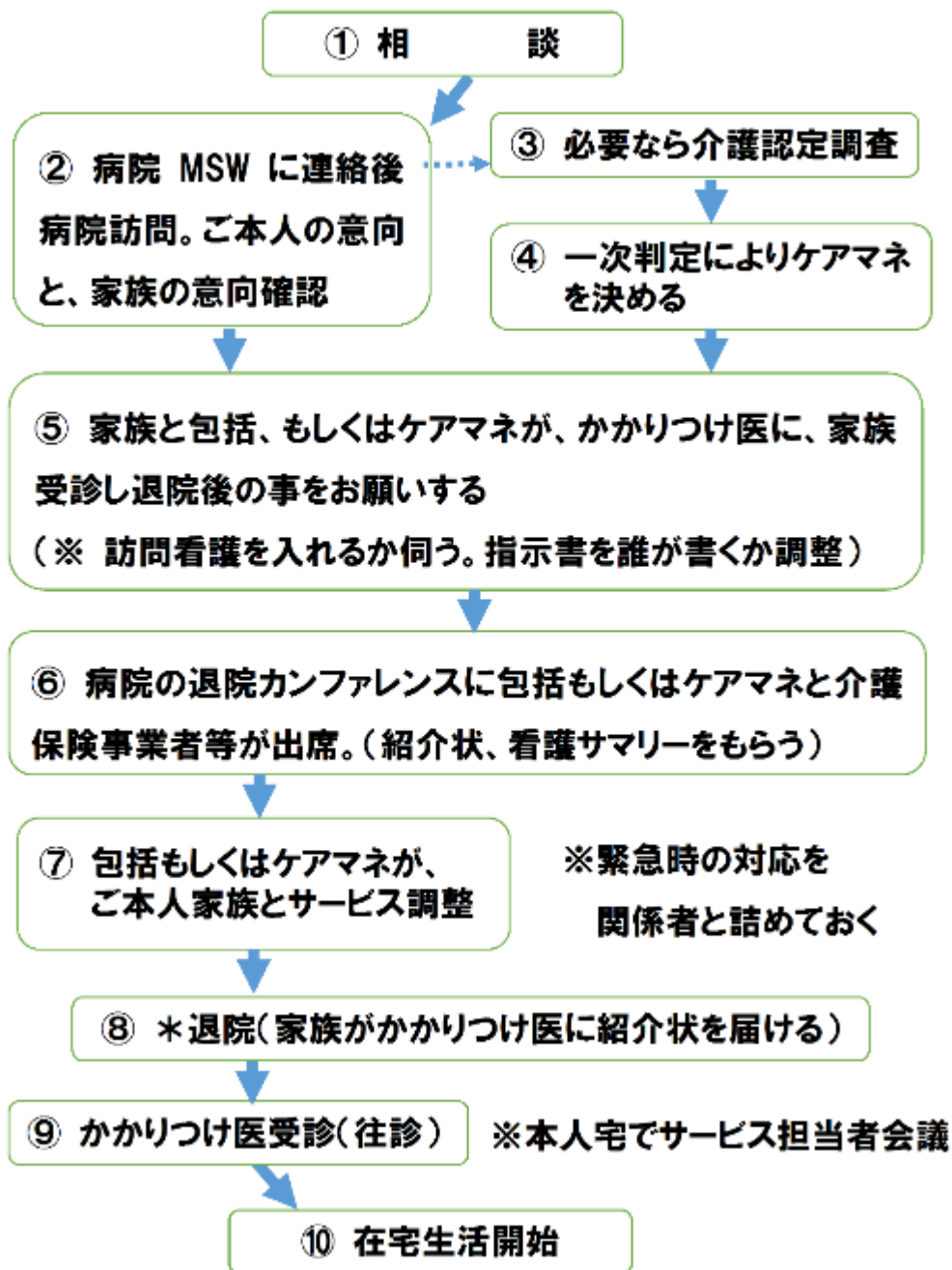
- ◆ 入院させようと迷っているうちに亡くなった。
- ◆ 本人も苦しんだし、家族も疲れた。
- ◆ 自分の家なので、用事をしながら介護できた。
- ◆ 本人もいつもどおりの生活ができた。
- ◆ 親戚に「なぜ入院させなかった」と責められた。

● 病院での看取り

- ◆ 家族が介護しなくても看護師さんがやってくれるので、その分手を握ったり体をさすったりできて良かった。



<包括が在宅看取りの相談を受けた場合の流れ>



家族に説明すること

- ◆ 家で看取るか、病院で看取るか、基本、家だけど、もしかしたら病院か？
- ◆ 家と病院、それぞれのメリット・デメリット
- ◆ 延命治療と緩和ケア治療の違い
- ◆ 急変時の対応(苦しんだら？吐血下血など)
- ◆ 痛み・食べられない・不穏あばれる・苦しがる時、どう介護するか？
- ◆ 救急車の利用について
- ◆ 先生に相談すること、訪看に相談すること、包括に相談すること。
- ◆ 「息が止まった時」どうするかについて、医師とどういう話になっているか？(場合により主治医に確認)

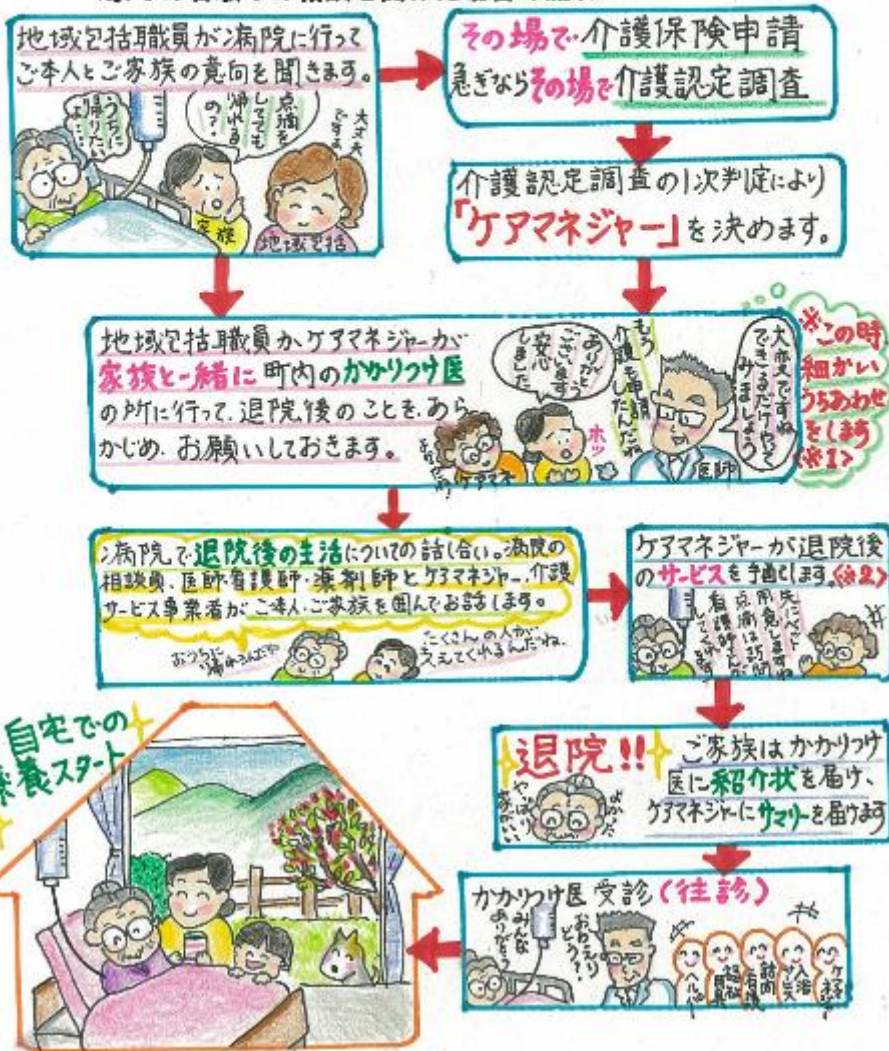


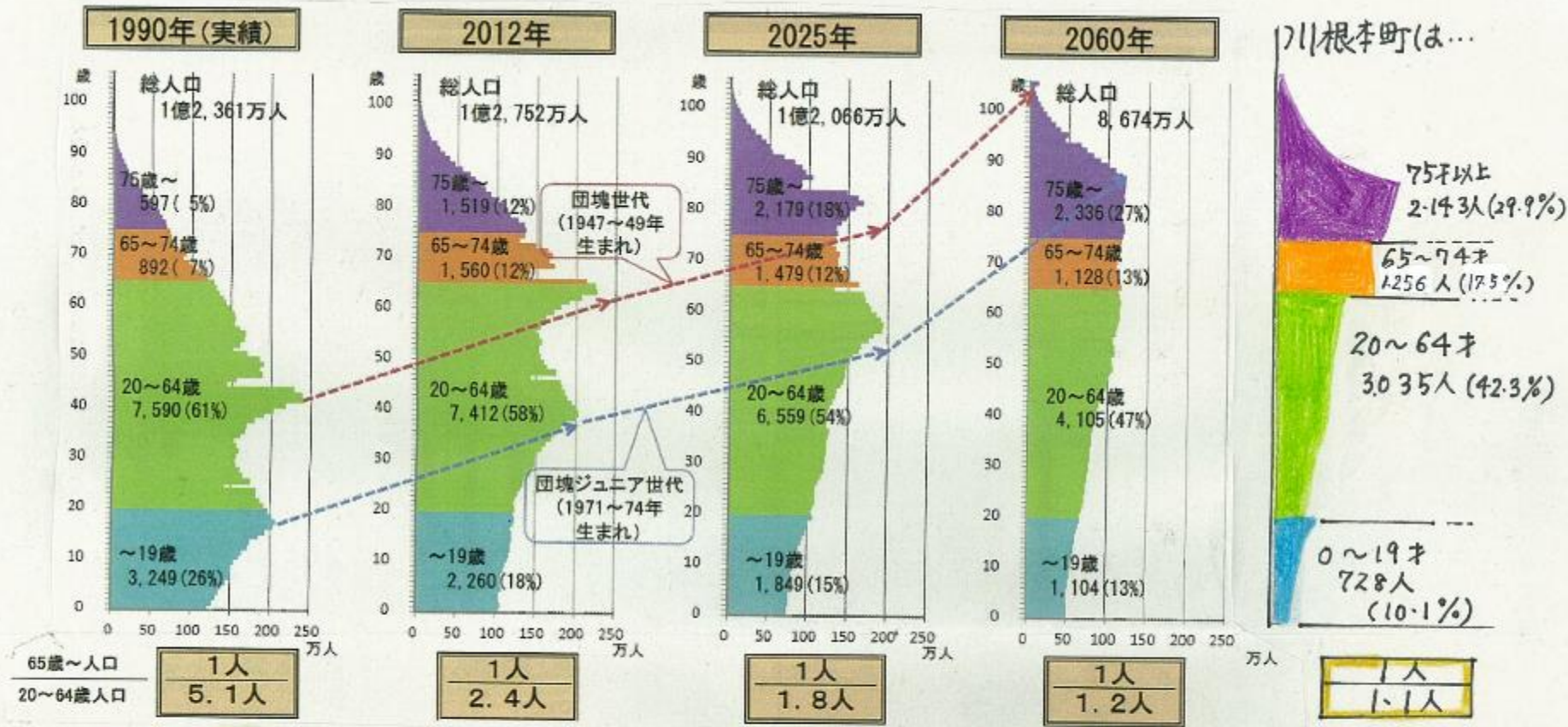
家族だけでは
手続きだつて大変です。
お手伝いします!!

川根本町の医療と介護を上手の利用しよう!

地域包括支援センターが窓口です (56-2225)

<家での看取りの相談を受けた場合の流れ>





H29年度 元氣はっらっ教室(認知症予防) アンケート集計
あなたはどこで人生の終わりを迎えたいですか？

地区	男	女	計	2. あなたは、どこで人生の終わりを迎えたいですか？			
				自分の家	病院	施設	わからない
千頭東	2	18	20	16	2	1	1
千頭西	3	13	14	13	0	1	0
大間	0	7	7	2	1	1	3
沢間	0	16	16	13	0	0	3
桑野山	5	7	12	9	1	1	1
坂京	0	9	9	2	2	0	5
田代・柳三	5	20	25	22	0	0	3
八木・大谷	0	13	13	13	0	0	0
奥泉	0	15	15	11	2	0	2
上岸・前山	2	12	14	11	1	0	2
接岨	1	8	9	6	0	0	3
寺馬	3	12	14	11	0	0	3
徳山	1	24	24	15	1	2	6
小長井	2	19	21	16	3	1	1
崎平	5	25	29	26	1	0	2
青部	5	16	20	17	2	0	1
田野口	1	7	8	5	1	1	1
水川	2	14	16	6	5	2	3
下泉	1	9	10	9	0	1	0
志町河内	2	10	12	9	0	2	1
地名	10	41	49	39	6	0	4
下長尾	0	8	8	7	0	0	1
瀬平	5	7	12	11	0	0	1
上長尾	1	18	18	15	0	0	3
久野脇	4	8	12	10	1	1	0
三津間	0	16	16	16	0	0	0
高郷	2	25	23	20	1	0	2
梅高	5	34	38	36	0	0	2
八中	0	3	3	3	0	0	0
藤川	6	11	17	11	3	0	3
久保尾	5	10	15	14	0	0	1
計	78	455	519	414	33	14	58
全31ヶ所				79.7%	6.4%	2.7%	11.2%





<地域の強み>

- ◆ 昔から医療に恵まれていなかったため、自助共助がある程度できる
- ◆ 「昔と比べれば今は安心」の声。消防署がある、ドクターヘリがとぶ救急時間外がある、通院の送迎サービスがある。
- ◆ 介護サービス(訪問看護)がある。
- ◆ 相談をうけてからの対応が早い。
- ◆ 薬局、包括、ケアマネ、介護従事者がお互いを良く知っている。医師との連携もある程度できている
- ◆ 全自治会がAEDをもっている。普及員活動もさかん。

<地域の弱み>

- ◆ 医師どうしが話をする場・機会がない
- ◆ 子育て中の若い世代は不安が大きい
- ◆ 入院できる病院まで1時間~2時間かかる。(救急も)
- ◆ 専門医がない(眼科、皮膚科、整形、精神、呼吸器・・・)
- ◆ 榛原医師会の拠点が南部のためかかわりが薄い。
- ◆ 急病の時の救急車以外の受診方法が少ない。(外出支援は2日前までの予約制。デマンドは健常者)



< 課題 >

- ◆ 看取りをしてくれる医師は4人。休診日や夜間の負担が大きい。診・診連携を検討中。
- ◆ 24時間体制のクリニック参入については「場を荒らされたくない」という医師もあり。
- ◆ 療養が辛くなってしまった時の短期入院・入所施設が町内にほしい。
- ◆ 包括の24時間365日の考え方
- ◆ 病院の「早く早く」に患者・家族の気持ちを追いついていかない
- ◆ 医療以外の生活の質（医療連携に社会福祉士は必須）
- ◆ 住民の力も必要（救急法ボランティア）



医療介護一同に会した話し合いが必要

居宅介護支援

基準省令

◆ 十九（介護予防支援も適用）

介護支援専門員は、利用者が訪問看護、通所リハビリテーション等の医療サービスの利用を希望している場合その他必要な場合には、利用者の同意を得て主治の医師等の意見を求めなければならない。

◆ 十九の二（介護予防支援も適用）

前号の場合において、介護支援専門員は、居宅サービス計画を作成した際には、**当該居宅サービス計画を主治の医師等に交付**しなければならない。



居宅介護支援

基準省令

◆ 第4条（介護予防支援も適用）

3 指定居宅介護支援事業者は、指定居宅介護支援の提供の開始に際し、**あらかじめ**、利用者又はその家族に対し、利用者について、病院又は診療所に入院する必要が生じた場合には、**当該利用者に係る介護支援専門員の氏名及び連絡先を当該病院又は診療所に伝えるように求めなければならない。**





2017/03/09

平成 29年5月30日

川根本町認知症講演会

認知症の診断と治療

生駒脳神経クリニック

認知症サポート医

小嶋 聡司

- ① 医療介護サービス情報冊子作成……………ア
- ② 亡くなった方の家族への聞き取り調査……………ア・イ
- ③ 人口透析患者への訪問調査……………ア・イ
- ④ 町内医師との懇談会……………イ・ウ・エ
- ⑤ 多職種連携チームの話し合い……………イ・ウ・エ
- ⑥ 協議会の立ち上げ……………イ・ウ
- ⑦ 高齢者サービス担当者会議……………イ・ウ・エ
- ⑧ 地域ケア会議……………イ・ウ・エ
- ⑨ 医師・介護関係機関連絡票……………エ
- ⑩ 静岡県在宅医療・介護連携システム登録……………エ
- ⑪ 医療介護の相談窓口を地域包括支援センターへ……………オ
- ⑫ 多職種連携研修会……………カ
- ⑬ 看取りの手引書作成中……………ウ・エ
- ⑭ 全地区巡回で「人生の終わりをどこで迎えたいですか」……………イ・キ
- ⑮ 遠隔地住民と医師との懇談会……………イ・キ
- ⑯ 志太榛原地区地域包括ケア推進ネットワーク会議……………ク
- ⑰ 町外病院の医師を招いて研修、町内医師との懇談会……………ク